

式 辞

皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和八年の輝かしい新春を迎え、ここに池田町消防団出初式を挙行いたしましたところ、荻窪団長をはじめ消防団員の皆様、並びに各種団体代表の皆様のご参加をいただき、盛大に開催できることを、町民と共に心からお慶び申し上げます。

また、下条みつ衆議院議員、阿部守一長野県知事代理、新田恭士副知事をはじめ、御来賓の皆様には、公私ともにご多忙のところご臨席を賜り、本式典にご光彩を添えていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

加えて、平素より当町の消防・防災行政に対し、格別のご指導とご支援を賜っておりますことに、衷心より感謝申し上げます。

消防団の皆様におかれましては、火災発生時や行方不明者の捜索など、あらゆる災害対応の場面において迅速に出動され、先頭に立つて我が身を顧みず、昼夜を問わず職務に邁進されておりますことに、改めて深く敬意と感謝を表する次第であります。

また、本日ここに出初式において表彰を受けられる皆様に対しましては、重ねて感謝と心からのお祝いを申し上げます。

今回のご受賞は、長年にわたり消防団活動にご尽力されてきた功績の賜

物であり、今後ともより一層のご精進をお願い申し上げるものであります。

さて、消防団の活動において、昨年は誠に喜ばしいニュースがございました。長野県消防ポンプ操法大会において、池田町消防団第二分団一部が見事初優勝を成し遂げ、さらには個人最優秀選手には浅井祐介選手が選ばれました。

優勝された第二分団の皆様、浅井選手には、日頃の厳しい訓練の成果を遺憾なく發揮されたことに心から敬意を表しますとともに、これまで支えてこられたご家族や職場関係者の皆様にも、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年もさらなる研鑽を重ねられ、一

層の高みを目指されますことをご祈念申し上げます。

一方、昨年は岩手県大船渡市をはじめ、全国各地で大規模な山林火災が相次ぎました。今年に入つてからも、山梨県上野原市において林野火災が発生するなど、その脅威を改めて認識しているところであります。

また、昨年四月には、大町市を中心震度五弱、マグニチュード五・一の比較的大きな地震が発生しました。当町においても震度四を観測、住宅屋根瓦の崩落四件、墓石の倒壊十件などの被害が生じました。

さらに本年に入りましても、十五日に震度三の地震を観測するなど、糸魚川——静岡構造線上に位置する当町

においては、大規模地震への備えの重要性を改めて強く認識しているところであります。

こうした状況を踏まえ、当町ではこれまで災害協定の締結や避難所整備を進めてまいりましたが、このたび新たな取組として、一定の距離を有する複数自治体との広域的な災害協定を締結する運びとなりました。

松川村、辰野町、信濃町との協定により、二次避難場所の確保や災害備蓄品の相互供給など、スケールメリットを活かした災害対応が可能になるものと期待しております。

さらに昨年は、国の交付金を活用し、災害備蓄品として簡易テント592張、折りたたみベッド1604台、気

化熱冷風機8台を整備いたしました。また、現在は納車前ではありますか、トイレトレーラー一台およびトイレカーニ台を発注しております、今年度内の配備を予定しております。

今後も、住民・地域・行政それぞれの役割を踏まえた「自助・共助・公助」の連携体制を、より一層強化してまいります。

消防団の皆様には、今後とも住民の生命、身体、財産を守り、安全で安心して暮らせる池田町の実現に向け、より一層のご尽力をお願い申し上げます。

町といったとしても、団員の確保や防災備品の充実、自主防災会との連携強化、実効性のある訓練の実施など、防災対策に引き続き前向きに取

り組んでまいります。

結びに、本年一年が無火災・無災害の平穏な年となりますこと、並びに本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、式辞といったします。

令和八年一月十八日

池田町長 矢口 慎